



令和4年度(2022年)11月号

萩市立榎東小学校

学校だより 『**ちん** **とう** **しょう** **がっ** **こう**』  
**榎 東 笑 楽 考**

## なかよし班で、ふるさと榎東再発見の旅！

校長 藤中 俊臣



例年に比べ、遅くまで残暑が続いていましたが、ようやく澄み切った青空が広がるようになり、秋の訪れを実感する今日この頃です。学校では、来る10月30日(日)の音楽参観日(開校150周年記念式典)に向け、校舎内には、朝からリコーダーの音色や合唱など、何とも心地よい音楽が絶え間なく響いています。本番では、一人ひとりがしっかりと演奏し、美しいハーモニーを奏でて欲しいと思います。

## なかよし班の絆を深めた「地域探訪ウォークラリー」！

去る10月12日(水)開校150周年記念事業の一環として、「地域探訪ウォークラリー」を実施しました。これは、松陰神社をはじめとしたチェックポイントの課題を、縦割り班で協力しながら解決し、ゴールである陶芸の村公園を目指すものです。

### 子どもの主体的な学びの場になるよう工夫

子どもたちは、班のめあてや回る順番、どの道を進むかなど、班で相談して決定します。日頃指示をされることの多い子どもたちにとって、「自分たちで決める」経験は、案外戸惑いが多かったようです。しかし、班で協力し、自分たちの力で課題を解決して、ゴールしてきた子どもたちの顔は、どれも達成感や満足感に満ちあふれていました。最後にめあての達成度を振り返って、新たな課題の発見と次の挑戦へとつないでいきます。なかよし班の挑戦は、これからも続きます。

### 保護者や地域の皆様に支えられて・・・

こうした野外での活動は、安全確保が大切です。しかし、学校だけではマンパワーが不足しているため、今回保護者や地域の方に班への付き添いや、危険箇所での交通指導をお願いしたところ、約30名の方にボランティアスタッフを快くお引き受けいただきました。

お陰をもちまして、安全に裏打ちされた中、子どもたちは存分に冒険を楽しむことができ、校内ではなかなか獲得しにくい“非認知能力(リーダーシップなど数値では測りにくい能力)”を育む貴重な機会となりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



班で協力して問題を解きます。



景色を眺めながら「ほっとひといき！」



弁当の後は班で楽しく遊びます！

## 式典に向けた子どもたちの「すてきな姿」を紹介します

いよいよ10月30日(日)に開校150周年記念式典を開催します(この原稿は式典の開催前に書いていますが、学校だよりが届くころにはすでに終わっているかもしれません)。今回の式典は「子ども主体」という視点を大切にしながら、子どもが主役を担うことによって得られる教育的効果を期待して行っています。その式典を直前にした今、式典に向けた様々な取組もラストスパートといったところです。今回は、華やかな式典の裏で、目立たずとも堅実な活動をしている子どもたちのすてきな姿をお伝えします。



### 音楽参観日に向けた練習

音楽参観日に向けて、各学年の練習も仕上げの段階にきています。今は体育館を使用して、本番を想定した練習を行っています。子どもたちの歌声やリコーダーなどの合奏の音色が響いてきます。参観してくださる保護者の皆様のために、一生懸命に練習に取り組む姿がすてきです。

### 呼びかけ・スライド練習

記念式典では、5、6年の子どもたちが呼びかけやスライドショーを披露します。子どもたちは「地域の皆様への感謝の気持ち」や「椿東小を愛する気持ちや誇り」などを自分たちが考えた言葉にのせて表現します。椿東小のリーダーとして責任を果たそうとしている姿がすてきです。



### 開校150周年記念掲示物

当日は、体育館を会場として式典を行います。校舎内にも開校150周年を記念した様々な掲示物が飾られています。保護者や地域の皆様にご覧いただけないのが残念ですがイラストクラブや掲示委員会の子どもの取組がお祝いのムードに花を添えています。陰ながら活躍している子どもたちの姿がすてきです。

